社会新報
植田好雄版

【発行所】　社会民主党全国連合機関紙宣伝局
（週間水曜日発行）
〒104-0043　東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
電話代表03(3553)3787　振替00140-1-3203　●定価180円●1ヵ月700円●送料164円

【分局】
島根県江津市敬川町937-3
2019年4月
N06

【発行責任者】
植田　好雄
TEL(Fax) 0855-52-7837

E-mail：yosio@helen.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.uedayoshio.net/

3月議会

新庁舎建設事業や防災無線デジタル化事業など平成31年度の当初予算162億3900万円

3月議会は、3月4日から20日までの日程で行われ、平成31年度当初予算や平成30年度補正予算、条例改正など41件の議題の提案と、「75歳以上の医療費窓口負担の原則2割負担に反対する意見書提出」を求める陳情が1件が提出されました。

当初予算は、新庁舎建設や防災無線デジタル化などの大規模事業があり、総額162億3900万円となっており、昨年度当初予算より20億円増となっています。

補正予算は、各事業の実績と決算見込み額など調整し5億6480万7千円を減額し、予算総額154億391万7千円となっています。

一般質問は、3月7日・8日の2日間で行われ、今回は14名中9名が一般質問を行い、植田好雄は、7日の4番目に行いました。

3月議会は、年度を締めくくる議会であり、31年度の当初予算が提示され、市民の安心・安全・子育てや福祉を始めとした、暮らしやすい江津市に向けた市政や予算運営を示す重要な議会です。

市長の施政方針は

議会冒頭では、市長の施政方針が行われ、▼昨年7月豪雨災害を受け止水対策の一日も早い整備を県に強く要望▼防災拠点としての新庁舎建設事業の推進▼自主防災組織の育成・支援など推進と防災無線デジタル化事業について▼産業経済の振興や救急医療や災害時の緊急輸送路としての山陰道の早期実現▼全国的に問題になっている空き家対策に向けた「江津市空家等対策計画」策定の取り組み▼下水道事業や水道事業▼教育や子育て支援▼人口減少対策を中心とした、2020年度から実施の「江津市総合振興計画」による自立的で持続可能な社会を形作る地方創生の実現▼公共交通について▼風の国の民間譲渡に至った反省と今後の雇用や地域経済の活性化と安定的かつ発展的な運営への期待▼地場産センターの無償譲渡を受け指定管理とする事について▼国民健康保険事業や当初予算の考え方などの15項目について述べられました。

3月17日の一般県道浅利渡津線の開通式
江津ICから浅利工業団地まで6分短縮

19年度当初予算は

今回の当初予算は、「江津市版総合戦略」を軸に「定住化対策」など重点にした編成で、総額162億3，900万円です。昨年の市長選を控えた骨格予算と比較して20億円増の主なものとして、新庁舎建設や防災無線のデジタル化事業などが行われることによるものです。

歳入は、市税や繰入金（基金取り崩し）などの自主財源は47億98，777千円（29．6％）、地方交付税、国庫支出金、県支出金などの依存財源は114億40，223千円（70．4％）で、その内、臨時財政対策債含む市債（借金）は26億3千万円（16．2％）で、内訳は、新庁舎建設事業で10億370万円、土地利用一体型水防事業9，180万円、防災無線デジタル化事業5億9千万円、渡津小学校体育館耐震化事業や桜江中学校体育館老朽化改修事業などに1億2千4百万円などです。

歳出は、人件費に22億2千6百万円（13．6％）、公債費（謝金返済）に22億1千6百万円（13．6％）など義務的経費に74億7百万円（45．6％）、普通建設事業の投資的経費に26億5千6百万円（16．4％）、災害復旧費や補助費等（プレミアム付商品券、地域医療支援、保育士確保対策費など）その他経費に61億7千4百万円（23．8％）となっています。

東高浜市街地整備事業

予算委員会は、13日から15日の三日間行われ、13日は●東高浜市街地整備事業●汚泥共同処理施設●工業立地促進奨励金（第一稀元素）●暗渠排水設置工事（川越）など12カ所の現地調査を行いました。

第一稀元素の新工場

暗渠排水設置工事（川越）

当初予算を可決

初めての当初予算審議でもあり、会派（市民クラブ）で検討会を行い臨みました。植田好雄は、地方バス路線維持対策事業の中身について、空き家対策事業、地域支援事業の共通する事業の統一の考えについて、などを質しました。

当初予算審議の概要は、「新庁舎の建設場所に問題があるのでは」との質疑に「最近の知見では安全性に対応できると考えている」との答弁。「プレミアム商品券の対象範囲など制度の内容は」との質疑に「実施要領案はあるが、詳細は決まっていないため不明」との答弁。「体育館の耐震化は、災害時の避難所になるが、将来的にエアコン設置も見込んだ気密性を確保されるのか」との質疑に「エアコン設置の基準まで気密性は上がない。エアコンの必要性は感じていますが、現在のところは考えていない」との答弁がなされた。審議の結果、賛成多数で当初予算は可決、その他の5つの特別会計と水道事業会計は全員賛成で可決し、本会議においても可決された。

3月補正予算は

3月補正は、各事業の実績及び決算見込み額などの調整を行なわれた。歳入歳出の補正総額は、5億6，480万7千円を減額し、予算総額は154億391万7千円とするものです。

現地調査は、川波小学校プール循環装置更新工事と工業団地内道路測量委託料の現地を調査しました。

川波小学校プール
循環装置更新工事

工業団地内道路測量委託料
日本光研

審議の主なものとして、「新庁舎建設事業の敷地購入の追加で、簿価と時価の差額について」質し「当初は、公社の簿価が平米2万7千円が、鑑定評価で3万1千円となった。警察署も同様の評価である」との答弁。他に「住宅・建築物安全ストック形成事業の減額は、事業が進んでいないが、取組みが不十分ではないか」との質疑に「緊急輸送道路に立ち並んでいる危険な建築物の耐震診断費の予算であったが、診断希望者がいなかったため」との答弁がなされ、採決の結果は賛成多数で可決しました。特別会計4件と水道事業会計の補正予算も全員賛成で原案通り可決しました。

17件の条例改正も全て可決

今議会は、17件の条例改正が提出され、『総務文教委員会』には「議員報酬や市長等の給与に関する条例の一部改正」など3件が付託され、『建設厚生委員会』には、「風の国廃止に伴う条例」や「し尿処理設置及び管理、廃棄物処理及び清掃に関する条例」「国民健康保険条例の一部改正」、「水道事業関連の技術上に関する条例の一部改正する条例」など、14件が付託され審議された。

「江津市家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正する条例制定について」と「江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について」は「反対、賛成」討論が行われましたが賛成多数で可決され、全ての条例改正は可決されました。

「陳情」は否決される

「75歳以上の医療費負の2割負担に反対する意見書の提出について」

建設厚生員会に付託され、審議の質疑において、「国政のものは範囲外」「国会で審議中である」「執行部提出の事案でない」等の理由で、質疑が否定されることに少し疑問を感じます。地方議会として、市民の幸せが脅かされる政策が進められる恐れがあれば、しっかり国政に「ものを申す」態度が問われます。

意見書を提出するのかどうかは、しっかり議論をして結論を出すべきと考えます。

こうした事も踏まえて、後期高齢者医療制度という75歳以上を別枠にした制度にも問題があり、社会保障の充実や若者世代の将来の重い負担問題を考えると、米国からの「武器の爆買い」でなく、社会保障や暮らしに回すべきであり、植田好雄は、意見書の提出に賛成しましたが、賛成少数で否決されました。